

『輝け雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2025年2月
第100号



1月4日 商工会新春福引抽選会場と屋外で飲食を提供する協力隊

今年も協力な隊制で千客万来!

- P 2 第4回定例会 主な議案
- P 4 町政を問う 7名(9件)が一般質問
- P 7 シリーズ検証「一般質問のその後を追う」
- P 10 議会改革調査特別委員会の活動
- P 11 常任委員会の活動
- P 12 特集「みんなの議会」発刊100号



沼田町議会 検索

令和6年 第4回 定例会

12月17日

令和6年第4回定例会が上記の日程で開催され、令和5年度沼田町一般会計等並びに水道事業会計歳入歳出決算の認定をはじめ、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、7名の議員が9件の一般質問を行いました。

上程された おもな議案

以下の議案について同意、承認しました。

■指定管理者の指定について

- ・沼田町クラフトビール醸造所（5年間）
LAST LAND合同会社
- ・沼田町暮らしの安心センター（5年間）
社会福祉法人 沼田町社会福祉協議会

■沼田町特定環境保全公共下水道沼田浄化センターの 建設工事委託に関する協定の一部変更について

補正予算

一般会計

令和6年度一般会計の予算を5億3003万円を追加し、総額を66億9214万円とする補正予算を承認しました。以下は主な事業となります。

■沼田町食の魅力発信拠点整備運営事業

食の魅力発信拠点テナント料並びに
拠点整備工事 **957万円増**

■ふるさと納税関連費

記念品、通信運搬費、手数料 **2億8640万円増**

■北空知衛生センター組合負担金

不適切な経理における沼田町負担分 **492万円増**

■観光協会補助金

夜高あんどん継承事業補助金他 **1590万円増**

■青少年スポーツ文化振興助成金

50万円増

■ふるさとづくり基金指定寄付積立金

2億円増

特別会計など

■沼田町下水道事業会計補正予算

建設改良費 **7228万円減**

グループホームなごみ、介護保険、水道事業会計と下水道事業会計の補正予算を承認しました。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

■ いくた 生田 ただゆき 忠幸氏 (再) ■ さわだ 澤田 あきら 彰氏 (新)

賛否が分かれた一般会計補正予算

■沼田町食の魅力発信拠点整備運営事業について

・篠原議員 質疑

開店前の準備の段階で2000万円近くの資金がかかっています。今後は運営資金も必要と聞いている。物価上昇の状況がある中で町民にこの事業をどのように理解してもらうかを聞きたい。

・横山町長 答弁

わが町の特産品を売り、多くの人が町に来訪いただき人流を起こす環境を作り、移住定住に繋げてく目標のもと、新たな挑戦を図り、全国に沼田町の知名度を向上させるための事業であります。町の活性化のためにご理解をいただきたい。

討 論

・篠原議員 反対討論

町民のためのやるべき優先順位として、新たな特産品がしっかりと町民に愛されて広く社会に認知されて、安定した環境を用意してからでも良いと思いますので補正予算に反対します。

・大沼議員 賛成討論

今、チャンスがある時に進めていくべきだと考えますので、補正予算に賛成します。



採決の結果

賛成	 畑地議員	 鵜野議員	 久保議員	 三浦議員	 伊藤議員	 長野議員	 大沼議員	 上野議員
反対	 篠原議員							

町長、教育長への

一般質問



伊藤 淳 議員

携帯電話不感地帯の環境改善を

改善に向けた対策を早急に進めたい



横山 茂 町長

伊藤

情報のデジタル化は現在の仕事や生活に欠かせない。住宅のない地域でも無線通信は不測の事態の連絡手段やスマート農業に欠かせない。

通信ができない地帯での安全対策や、農業機械の位置情報高度化をどのように考えるか。

携帯電話不感地帯対策の実証試験の結果を受け、次年度以降どのように対応するのか。

情報のデジタル化普及に向けて国は地方自治体を支援しているが、それらを活用した事業に取り組むことはできないか。

町長

大規模化が進む本町農業の持続発展のために、スマート農業の導入による経費削減と環境負荷低減、経営効率化に期待します。

特に中山間地帯を有する本町においては、携帯電話不感地帯の解消は喫緊の課題であり、早急に対策を進めたいと考えます。

事業実施においては国の補助制度活用を検討しており、地元負担の軽減を図りたいと考えます。



鵜野 範之 議員

行政区、町内会の負担軽減策を

負担軽減の割合を今後も検討する



横山 茂 町長

鵜野

沼田町では過疎化と高齢化の進行で行政区の運営に苦勞する状況が見られる。

戸数の減少で町内会の負担割合が増加しているもので町に関わりがあるものとして街灯料がある。この負担割合を下げる、もしくは無くすることはできないか。

お知らせ版などの配布作業についてはこれまででも対策を検討するという回答があったが、早急に軽減策を進めてもらいたい。

町長

街灯電気料の町内会負担割合は、これまでさまざまな経過を経て現在40%になっています。歩行者の安全を維持しつつ、地域住民の費用負

担の公平感を担保できるよう負担割合の見直しを検討したいと思いますが、負担無しでは持続可能なまちづくりは難しいと考えます。

町からの発送物の負担軽減に向けてはペーパーレス化の準備を進めています。また、各課事業のチラシなどを集約することで配布枚数を削減できるよう、今後も取り組んでいきます。





上野 敏夫 議員

ふるさと納税の今後の戦略は

新たな返礼品開発と共感を得る事業を検討する



横山 茂 町長

上野

ふるさと納税額が過去最高の10億円を超えていることに対し、関係者の努力に敬意を表したい。

納税額の詳細な分析はどのようになっているか。

寄附をしてくれた方の気持ちを考えてどのような使い方をしていくのか。

さらなる寄附金額の増大に向けて、来年度以降どのような戦略を考えているか



寄附金はこども園の運営にも使われています

町長

今年度は令和の米騒動と言われるような米不足や価格高騰の影響があり、例年より多くの寄附が集まったと考えます。

返礼品の総件数は4万9000件で、そのうち雪中米が4万4700件、トマト関係が約4000件です。目的別ではふるさと創造事業が44%、いつまでも幸せに暮らせる町づくりが24%で、その他を含め現時点で総額10億3000万円です。引き続き寄附者の意向に沿った事業に充当する考えです。

来年度以降もまた寄附をいただけるように新たな返礼品の開発やサイト運営方法の見直しも含め、未来に託す事業や共感を得る事業なども検討していきたいと思えます。



長野 時敏 議員

留萌本線ラストランと駅舎の未来をどうするのか

一緒になって盛り上げる協力体制を作りたい



横山 茂 町長

長野

留萌本線の廃線が1年後に迫っている。ラストランの1年をどう仕掛けるのか。町が主導して町民、有志、高校生などの声を束ねる協議の場が必要と考える。

廃線後の駅舎と鉄道をどう活用するのかまだ決まっていない。観光スポットとしてかつてない財産になると考えるがどうか。

様々なアイデアをスピード感を持ってとりまとめ、JR北海道に協力要請をしてはどうか。

町長

留萌本線全体のことで言えば、沿線自治体と併に廃線イベントも考えており、一緒になって盛り上げていく協力体制が作れたらいいと思っています。

駅舎や鉄道の活用は、これまでも広く意見を聞く場を設けており、いただいた意見も踏まえて検討していきたいと考えます。

様々なアイデアをとりまとめ、JRに要請すべきことは要請した中で進めていく考えです。



石狩沼田駅のホーム



篠原 暁 議員

奨学金制度の柔軟な拡充を

奨学金を含めた支援制度全体を検討する



横山 茂 町長

篠原

沼田町には独自の奨学金制度があるが、町内に就業した場合しか返済が免除されない。道内には日本学生支援機構などの奨学金返済を支援する自治体があり、区域外に就業した場合にも適用される例がある。

沼田町でも各種奨学金の返済を支援する新たな制度は創れないか。

また、町の奨学金貸付額拡大や、町外への就業にも返済免除をするなど制度の拡充はできないか。

町長への篠原議員のその他の質問

- 問** 引き続き高齢者にもわかりやすい保険証の説明を
答 広報やお知らせ版で周知している

町長

本町は独自の子育て支援策としてがんばる高校生応援手当をはじめ、子育て世帯を側面から支える対策が充実しています。

各自治体が実施している日本学生支援機構などの奨学金返済支援制度が、償還金の一部を補助するのに比べて、本町独自の奨学金制度は町内に就業された場合には全額町が負担する手厚い内容になっています。

町の奨学金制度を拡充する場合は、農業、商工業、福祉などを網羅して全体の支援制度を検討していくことになると思います。



久保 元宏 議員

ほたる館再生の方策は

ほたる館のコンシェルジュ機能を強化する



横山 茂 町長

久保

沼田町のまちづくり戦略に町民が参加できない状況がある。町民の心がほたる館から離れる前に町長の政治生命をかけて再生に望んでいただきたい。

ほたる館や町の公共施設で沼田町の商業者からの仕入れをどのように拡大していくのか。

ほたる館の人手不足解消のために、職員の給料を含めた待遇改善を第一寶亭留だけに任せるのではなく、沼田町も一緒に支援するべきではないか。

ほたるの里のコントロールセンターをワンストップでわかるようにすべきではないか。

また、そらち自然学校の事業は町民財産の一部を使って運営されているのだから、決算状況を町民に開示すべきではないか。

町長

ほたる館の仕入れ状況を各個店まで調査はできませんが、町内で仕入れできるものはひとつでも多く対応していただけるようお願いしています。

人手不足解消には第一寶亭留として人材確保に努めていただいています。給料はグループ内での格差はないようです。

ワンストップで対応できる体制としてコンシェルジュを置いています。引き続きホテル側と調整させていただきたいと思います。

町としてはNPO法人そらち自然学校の情報を開示することはできません。運営を軌道に乗せるための協議は必要と考えます。



大沼 恒雄 議員

所得税とガソリン税改正の影響は

効率の良い行政運営と自主財源確保を進める



横山 茂 町長

大沼

今103万円の壁が話題になっている。仮に所得税の非課税枠が引き上げられると、国では7.6兆円の税収減になると試算されている。

このことは本町にも影響を及ぼすと思うが、町長はどのような対応を考えているのか。

国は、自動車関係諸税全体の見直しに向けての検討開始も決定した。燃料費の高騰は物価を押し上げる要因になっている。ガソリン税における二重課税状態の解消を国に求める考えはあるか。

町長

103万円の壁の引き上げで地域の労働力が確保されて地域経済が活性化する一方、町は税収減を補わなければなりません。財源不足が住民生活に支障をきたさないよう、国に対して財源補填の対応を求めたいと考えます。

ガソリン税では令和6年度予算ベースで、本町に対し国から1400万円の地方揮発油譲与税が見込まれており、貴重な財源です。

しかし、国の財政事情は楽観視できないことから、効率の良い行政運営と自主財源の確保対策を進めていく必要があると考えます。

大沼議員のその他の質問

問 認知症基本計画策定とカスハラ予防対策は

答 令和8年度中に計画を策定する。
カスハラ防止の啓発チラシなどで周知を図る。

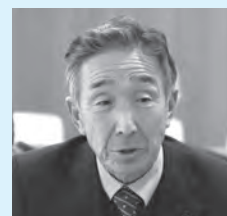
シリーズ検証

第2弾

一般質問のその後を追う

議員が定例会ごとに行う一般質問は、その後どうなったのか。

シリーズ第2弾は令和5年6月の定例会における上野議員の一般質問です。



問 小・中学校のスポーツ少年団と部活動の今後は

生徒が1人であっても部活動ができるよう、北空知広域による拠点校方式を検討するべきではないか。

答 管内で検討し人材確保にあたる

雨竜町を含めた1市5町の中で、段階的に整備をしていく方向で検討を進めていきます。

★その後の対応（教育委員会）

令和6年度に、北空知1市5町において部活動地域移行推進協議会を設置し、各市町の代表者が集まった北空知広域連携検討会議で検討を進めています。

特に本年度は、「北空知中学生ミライの部活動体験会」や「北空知広域連携セミナー」などを開催して関係団体に理解と協力を求めてきたところであり、既に合同部活動がある中で喫緊の課題であった送迎問題については、この冬休みに沼田町単独で送迎実証実験をおこない、現在検証しているところです。

傍聴席とYouTube配信

今回の傍聴者は6名でした

スピーカーの音が聞き取りにくい。
議場のモニター画面が活用されていない。
(60代男性)



沼田町議会の定例会はライブ配信で！

スマホやパソコンからYouTubeを使って見ることができます。

生中継ですので議会の開会中にぜひご覧ください。もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーのテレビでも視聴できます。

YouTube再生回数
432回でした

和風園でも傍聴

令和6年10月8日に開催した「議会カフェ」にて和風園の皆様と懇談した中で、議会を傍聴してみたいとの意見があり、YouTubeでの傍聴が実現し、和風園の利用者約40名の皆さんに視聴していただきました。



今年の思いはこの一文字

進



小峯議長

互



大沼議員

益



鶴野議員

熱



長野議員

創



伊藤議員

健

亀谷局長

蒸



畑地副議長

働



上野議員

保



久保議員

今



篠原議員

聴



三浦議員

積

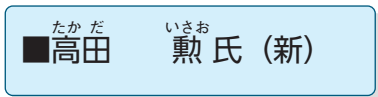
高橋書記

第1回 臨時会

1月14日に第1回臨時会が開催され、以下の案件を承認しました。

■人事案件

監査委員の選任について同意しました。



■条例改正

- ・町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・沼田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ・沼田町職員に対する寒冷地手当の支給に関する条例の一部を改正する条例

■工事の請負契約

- ・北竜マンホールポンプ所外電気設備更新工事の請負契約……………6622万円

■一般会計補正予算

- ・キャンパスライスプロジェクト委託料…175万円
- ・ふるさと納税関連費……………7100万円
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業……………1539万円
- ・低所得者の子育て世帯に対する臨時特別給付金事業……………60万円
- ・町道除雪委託料……………1000万円



■沼田町養護老人ホーム和風園特別会計補正予算……………2億5400万円

- ・令和7年度から9年度の給食業務委託事業における債務負担行為限度額の設定

■沼田町特別養護老人ホーム旭寿園特別会計補正予算……………2億5600万円

- ・令和7年度から9年度の給食業務委託事業における債務負担行為限度額の設定



債務負担行為とは

将来の支出を約束する行為で、次年度以降に支出を義務づけるような契約を締結する場合に用いられます。



自治振興協議会役員との懇話会

1月21日沼田町自治振興協議会の役員の方々との懇話会を行いました。

はじめに自治振興協議会と町議会の令和6年度の活動報告を行いました。自治振興協議会からは道内の防災の取り組みなどの研修報告を受けました。また「地域コミュニティ」について地域提案型まちづくり事業の利用促進など町内会行事の活性化に向けた取り組みや人口減となっても続けられる町内会や行政区のあり方など意見交換を行いました。



懇談の様子

第1回 議会モニター会議

1月24日 第1回議会モニター会議を行いました。

議会改革調査特別委員会での主な内容を報告した後、議会モニターさんにご意見や感想を伺いました。

YouTube配信・・・議会傍聴に出かけなくても、作業しながらでも視聴することができるので町民に興味を持っていただけるきっかけになる。

議会広報誌・・・横書きで写真も多く読みやすくなった。

議員定数と報酬・・・仕事内容や出役日数などをふまえ、議員内で議論して決定していくのが望ましい。

住民との意見交換・・・議会カフェなど新たな試みに期待している。町内各団体との懇話会など積極的に行うべきだ。

この様な意見や感想をいただき、議会改革調査特別委員会にて協議させていただきます。

常任委員会の所管事務調査事項

総務民教建設常任委員会

「平和の文化の継承」 「環境にやさしいまちづくり」

今年には戦後80年となり平和の大切さが改めて注目されています。しかし、平和は何もしないでいて続くものではないと考え、平和の文化をしっかりと伝えていくために何が必要なのかを学ぶため、道外の関係施設を視察しました。

併せて、長期に渡って調査している環境問題についても研究施設に於いて意見交換をおこなってきました。

- ・視察日程 11月4日から6日
- ・視察先 東京都千代田区 「昭和館」
神奈川県横須賀市 世界三大記念艦 軍艦「三笠」
東京都江東区 「東京大空襲・戦災資料センター」
神奈川県横須賀市 海洋研究開発機構 「JAMSTEC」(ジャムステック)



東京大空襲・戦災資料センターに入ると、最初に空襲について解説するビデオを見ることができました。

館内には空襲の様子を伝えるたくさんの展示物があり、焼夷弾の実物大模型も見ることができました。



JAMSTECでは研究員の案内で深海探査船「しんかい6500」の実物大模型の操縦室に入る体験ができました。

展示室で説明を受けた後、海洋プラスチックゴミ問題に関して意見交換をおこない、最新の情報などを知ることができました。



祝 第100号

「みんなの」

入選作紹介 第60号

全道特選 最優秀賞

広報委員紹介

・広報委員会

委員長	篠原	暁
副委員長	三浦	実希
委員	畑地	誉淳
	伊藤	

町民とつながる
「みんなの議会」を
今後もお愛読ください



51号から99号までの「みんなの議会」

小峯議長 あいさつ

議会広報「みんなの議会」創刊100号おめでとうございます。沼田町の議会広報は初めから議員が中心となり研修を重ね、最優秀賞、優秀賞を何度もいただいております。町民の皆様にはこれからも議会に興味をもっていただけるようお願いいたします。

議会

議会広報誌が100号を迎えるにあたり、前回の50号記念特集の後、現在までの広報誌を並べてその歴史を振り返ってみました。



入選作紹介 第72号

全道入選

歴代広報委員会

・平成23年～26年

委員長	中村保夫
副委員長	長原誠之
委員	鵜野範之 久保元宏

・平成27年～30年

委員長	大沼恒雄
副委員長	小峯聡
委員	長原誠之 鵜野範之 高田勲

・令和1年～4年

委員長	長野時敏
副委員長	篠原暁
委員	上野敏夫 畑地誉淳 伊藤

篠原委員長 あいさつ

先輩議員たちが繋いできた歴史の中で、この度幸運にも100号を発行するという記念の業務を担うことができました。ここに並べた51号から99号の間に2度もコンクールで入選を果たしていますが、私たちの代になってからは受賞から遠ざかっています。今後さらに研鑽に励み、受賞目指して頑張ります。

みんなの広場

今回は、商工会主催の「新春 福引抽選会」と並行して飲食の振る舞いコーナーを担当していた地域起こし協力隊の皆さんにこれまでの活動や今年の抱負をインタビューしました。



商工業支援員
すずき まどか
鈴木 円佳さん

私は、昨年6月に来たばかりで、ほろしんのキャンプ場で活動していました。今年は、昨年よりも良い形で活動できたらいいなと思っています。

それから、青春酒場を活動外で始めています。北海道沼田町が本店なので、結果を出して知名度を広げていきたいです。

個人的には管理栄養士として、沼田町の皆さんに何か還元できたらいいなと思っています。様々な活動をしていきますので、よろしく願いいたします。



外では焚き火で温まっていただきました



グルメ開発支援員
うえはら あさみ
上原 亜砂美さん

昨年はありがたいことに皆さんに利用いただいて、お弁当も結構需要がありました。それだけではちょっと難しいかなって感じはありますけどそれに合わせて一緒に何か別のこともやりながらと考えています。

これからやりたいこととして考えているのは、クラフトビール工場がオープンしてから、ビールに合わせたお料理などを提供できるようになればいいなと思っています。



観光支援員
ささき たかみつ
佐々木 隆光さん

昨年の5月に沼田町に来て、6月から9月末までほろしんのキャンプ場で活動していました。最初はみんな初めてなので、手探りでイベントをやっていました。

今年は今までの反省を活かしながら6月から最高のスタートを切れるようにこの冬の時期から、みんなで準備して、去年の成績を上回るような結果にしていきたいなと思っています。

ほろしんコンシェルジュでは、エリアを回るツアーみたいなものを自分でプランを組んで、お客さんに来ていただくような活動もしていきたいなと思います。



昨年は元旦から石川県能登半島地震や航空機追突事故などの災害や事故が発生し心配が尽きませんでした。

令和6年の米農家にとりましては、資材や燃油、農機具の高騰により生産コストが上昇する中、米価が高値で推移し過去最高益が見込まれています。

一方、スーパーなどで販売されている米の価格は、5キロで3500円前後と以前の価格帯の倍になっています。結果、米の消費減退に繋がるのではと危惧しています。

本年が、災害や事故がなく、沼田町全体で出来秋を喜べる年になるよう期待します。

広報特別委員

篠原 暁 三浦実希
畑地 誉 伊藤 淳